

令和5年度 事業計画

現在、国内外でまん延している新型コロナウイルス感染症は、収束に向かいつつあるものの、先行き不透明な状況が続いております。また、日本経済においては、原油を始めとする資源価格が高騰し、それに伴いガソリン・電気・食料品等の価格が上昇し、今後の経済の動向が懸念されているところです。

そのような状況の中、シルバー人材センターを取巻く環境は、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、70歳までの労働機会提供が企業の努力義務となったことや、令和5年10月からインボイス制度（適格請求書等保存方式）の施行に伴う運営経費の増加等、シルバー人材センター事業の大きな転換期になると思われまます。

当センターでは、お客様の多様なニーズに応えるべく地域に根ざした組織として、会員が地域社会の支え手としてその力を発揮できるよう事業に取り組んで参ります。

1 基本方針

- (1) 安全・適正就業の徹底
- (2) 会員の増強及びセンターのPR
- (3) 就業先の確保及び派遣事業の拡大
- (4) ボランティア活動の推進
- (5) 研修会・講習会等の開催
- (6) 組織の充実及び運営基盤の強化

2 実施計画

(1) 安全・適正就業の徹底

- ①安全・適正就業推進委員会を中心に安全巡回を実施するとともに、安全に関する講習会を開催し、会員の安全就業への意識向上を図ります。
- ②「適正就業ガイドライン」に沿ったシルバー人材センター事業を運営して参ります。
- ③新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図ります。
- ④市が実施する各種健康診査やがん検診の受診勧奨や、日常生活において、会員に対し健康管理の徹底を図ります。

(2) 会員の増強及びセンターのPR

- ①多くの会員の入会を促進するため、市広報紙への募集記事の掲載やPRチラシ等の配布により会員拡大に努めます。
- ②入会説明会を随時開催及び、会員による口コミでの勧誘活動を積極的に行うことにより新規入会者の促進を図ります。
- ③女性会員の増加を目的に、女性活躍委員会を中心に女性を対象とした交流事業や研修会を開催します。

- ④未就業会員の状況及び要望等を把握し、本人の希望に沿った就業紹介を行うことにより会員の退会抑制に努めます。
- ⑤市内公共施設にポスターの掲示、またパンフレットを配布しセンターの周知を図ります。
- ⑥ホームページの内容を充実し、センターのPR活動を行い会員の増強に努めます。
- ⑦会員向け広報紙「ひまわり通信」を年4回発行し、会員への情報・知識の提供及び共有化を図ります。

(3) 就業先の確保及び派遣事業の拡大

- ①新たな就業先の拡大に向けて、市内各企業に計画的に訪問し就業機会の開拓に努めます。併せて訪問時に企業から要望等の情報を収集し就業機会の拡大に努めます。
- ②請負契約を締結している業務において、契約内容を精査し、公益財団法人いきいき埼玉の指導の下、随時派遣契約に切り替えてまいります。
- ③高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として、シルバー派遣事業を積極的に推進し、会員の就業拡大に努めます。

(4) ボランティア活動の推進

- ①シルバー人材センター事業の啓発と会員の社会貢献を目的として広報・会員拡大委員会を中心に、街なか清掃活動などのボランティア活動を積極的に取組みます。

(5) 研修会・講習会等の開催

- ①会員の知識技術の向上及び事故防止のため「草刈り機講習会」「植木剪定講習会」「清掃講習会」を開催し、お客様が満足する就業の提供に努めます。
- ②会員の安全と健康に対する意識向上、更なる資質向上のため各種講習会を開催します。
- ③講習会・研修会について、アンケート調査と分析を行い、「会員の声」が反映される充実した講習会・研修会の開催に努めます。

(6) 組織の充実及び運営基盤の強化

- ①本センターに設置される3つの委員会（安全・適正就業推進委員会、広報・会員拡大委員会、女性活躍委員会）において、担当理事を中心にそれぞれの活動を活発に行い、センター事業の更なる推進に努めます。
- ②役員等スキルのアップを図るため、公益財団法人いきいき埼玉等が主催する研修会に積極的に参加します。
- ③センターを取巻く状況を十分調査し、当センターに合った中期基本計画を作成します。
- ④事業内容及び経費の見直しを常に図り、経費節減・財政基盤の強化に努めます。